



会派13人でスタート

県政改革！新たな信州を



続木幹夫(政策審議会長) 林 和明(副広報企画委員長) 花岡賢一(幹事長) 竹村直子(副政務調査会長) 佐藤千枝(副政務調査会長) 荒井武志(代表代行) 中川博司(政務調査会長) 小林東一郎(代表) 望月義寿(広報企画委員長) 高島陽子(副代表) 丸山寿子(副政務調査会長) 埋橋茂人(財務委員長) 小林陽子(副政務調査会長)

()内は会派後職

5月臨時会

改選後初めての議会である5月臨時会が5月9日から11日まで開かれ、議長・副議長の選挙、議会運営委員会及び各常任委員会の委員・正副委員長の選任が行われました。我が会派の埋橋財務委員長が指名推薦により副議長に選ばれました。

常任委員会等構成 (○委員長 ○副委員長)

総務企画警察	小林 東一郎	荒井 武志
県民文化健康福祉	○続木 幹夫	丸山 寿子
産業観光企業	高島 陽子	林 和明
農政林務	望月 義寿	小林 陽子
危機管理建設	中川 博司	○佐藤 千枝
環境文教	花岡 賢一	竹村 直子
議会運営	中川 博司	花岡 賢一 ○望月 義寿
決算特別	小林 東一郎 ○高島 陽子	丸山 寿子

代表挨拶



会派代表 小林東一郎

本年4月の県議会議員選挙において新たに当選した5名の議員も含め、計13名で会派「改革信州」を結成しました。県

6月定例会 新人議員5名も 県政課題に挑む

6月定例会県議会は6月22日に開会、211億円余の補正予算などを可決し7月7日に閉会しました。

一般質問には36名が立ち、我が会派からは新人5名を含む9名が質問を行い、選挙で訴えた県政課題を中心に論戦を挑み

議国会派で最多の5名の女性議員が所属するなど、多様な経歴を持つ議員が県民の皆様の様々な御意見を県政に届けることで、これからあるべき信州を創り上げるために力を合わせて行動してまいります。

また、地方自治の二元代表制の趣旨を踏まえ、知事に対して「是非々々」の姿勢を貫き、チェック機能を果たすとともに、積極的に政策提言を行いますので、忌憚のない御意見・御要望をいただきますようお願い申し上げます。

難民意見書案が否決

6月定例会に我が会派から3本の意見書案を提出しました。「地方財政の充実・強化を求める意見書」と「義務教育の一層の充実を求める意見書」は全会一致で可決されましたが、「難民認定制度において独立した第三者機関の設立を求める意見書」は、続木幹夫政策審議会長が提案説明を行い他会派の賛同を求めましたが、残念ながら賛成少数で否決されました。

議長申し入れ

5月臨時会で就任した佐々木祥二議長に対し我が会派は、議会改革を中心とする「当面する議会運営に関する提言」の申し入れを6月7日に行いました。提言した6項目の内容は次のとおりです。

①災害や新型感染症等迅速な対応が求められる社会情勢に鑑み通年議会を導入すること、②全議員が決算審査に関わる仕組みづくり、③議会専門スタッフの雇用や専門家(医師・法律家・技術者等)からの公聴会の実施、④議員定数や選挙区の見直し、飛び地の解消等を検討する調査会の速やかな設置、⑤意見書等の決議状況や結果について議事録を残すこと、⑥特別職の職員の給与に関する条例の変更を研究すること。

埋橋財務委員長が副議長に就任



5月臨時会で、我が会派の埋橋財務委員長が副議長選挙に立候補

し、対立候補が無かったことから、指名推薦により第101代副議長に就任しました。

埋橋財務委員長は、選挙に先立ち行われた所信表明会で、「議長候補をしながら、公平公正な議会運営を図り、闊達で真摯な議論が行われるよ

9月定例会日程(予定)

- ▽9月21日 開会
- ▽10月2日(29日) 一般質問
- ▽10月5日 委員会審議
- ▽6日 閉会



長野県議会議員

さとう千枝 県政レポート

東御市滋野乙2467番地 TEL:0268-62-0451 FAX:0268-62-0281 mail:satouchie55@gmail.com



6月定例会の一般質問
初質問で登壇



一期生による一般質問勉強会



危機管理建設委員会副委員長
として審査に参加



建設中の諏訪スマートインターチェンジ



篠ノ井の長野県消防学校で
訓練を受ける生徒



小川村鴨之尾(かものお)地区
で浸水被害のあった土尻川



東御市田中 一級河川求女川の工事
現場から

県議会第2会派『改革信州』に所属し議員活動がスタートしました。当会派は13人中新人5人(うち4人は女性議員)が所属し、多様な考えを尊重し自由闊達に意見を言い合える関係を築き県政の発展に力を注いでいきます。

6月定例会の一般質問では初質問で登壇しました。委員会では危機管理建設委員会副委員長を拝命し、委員会審査や各管内の現地調査を終え9月議会に向けた準備が始まっています。今後、県政レポートを通じて議会の様子や活動について皆様にお伝えをしてみたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

**6月定例会で補正
予算総額211億
23百万円余
26議案を可決・同意**
詳細は議会ホームページで

**6月定例会一般質問
(抜粋)**
子どもが真ん中の子ども
子育て支援について

〈高橋 とも若者局長〉
〈高橋 とも若者局長〉

〈高橋 とも若者局長〉
関係部局とは不登校対策や自殺対策をはじめ、様々な課題に関する会議を共に開催するほか、ヤングケアラーなど新たな課題に対して、子ども若者局を中心に、健康福祉部、教育委員会等とプロジェクトチームを設け実態調査や

教育・福祉関係者への研修を実施する等、部局を越えて一緒に取り組みを進めている。

〈高橋 とも若者局長〉
〈高橋 とも若者局長〉

〈高橋 とも若者局長〉
出産・子育ての情報を一元的に発信するポータルサイト「チアフルながの」の開設や、中学生から高校・大学生、子育て中の女性まで幅広い世代の皆さんから直接ご意見をお聞きし、とりまとめをした。今後は、新たに「子ども・若者モニター事業」を実施していく。18歳未満の子どもへのアンケート調査を行うほか、テーマを設けて子ども・若者・女性との意見交換も予定しており、様々な意見を丁寧に向かい、今後の施策づくりに反映させていく。

〈高橋 とも若者局長〉
〈高橋 とも若者局長〉

〈高橋 とも若者局長〉
小学生と中学生では全国を上回る割合で、「お話をしている家族がいる」と回答した。いわゆるヤングケアラーが一定数おり、困っていることがあっても周囲に相談せず、学校や日常生活に影響が及んでいることが明らかとなった。今年度よりコーディネーターを新たに配置し、当事者、家族、教育・福祉・行政機関の関係者からの相談窓口を設け、受付を開始した。

〈高橋 とも若者局長〉
今後、コーディネーターを中心に学校、市町村教育委員会、スクールソーシャルワーカー等連携した地域の支援体制の構築支援を進めていく。

インクルーシブ教育の推進

〈高橋 とも若者局長〉
〈高橋 とも若者局長〉

なぜか。どのような教育を目指そうとしているのか。

〈内堀教育長〉
本県が目指すインクルーシブな教育とは、障害のある子どもができる限り身近な地域で、同世代の仲間と共に学ぶ中で持てる力を最大限に伸ばすことができる教育であるとともに、全ての子どもが仲間と出会い関わる中で、多様性を認めあい、多様な価値観の中で問題を解決し、力を育むことができる教育である。全ての児童生徒にとって必要な教育である点に強く思いを込め、長野県ではインクルーシブと教育の間に「な」を入れて表現している。

〈高橋 とも若者局長〉
〈高橋 とも若者局長〉

〈高橋 とも若者局長〉
〈高橋 とも若者局長〉

〈高橋 とも若者局長〉
〈高橋 とも若者局長〉

〈高橋 とも若者局長〉
〈高橋 とも若者局長〉

内堀教育長

〈高橋 とも若者局長〉
〈高橋 とも若者局長〉

有効に設置するなど、通級による指導を充実していく。

危機管理建設委員会 会審査の要旨

(7月3日から5日)

知事提出議案については、慎重審査の結果、いずれも原案のとおり可決または承認すべきものと決定し、陳情については書面にて決定。

建設部審査では、7月1日に小川村で発生した土尻川の氾濫、住宅等の浸水被害について県が発注した工事が原因と考えられるとの発表に対し、工事の時期及び方法は適切であったのかとの質問がありました。現在、工事の実施状況について調査を進め原因究明を行っているとの説明があり併せて、他の工事現場における安全確保の体制についても徹底していくとの答弁がありました。

危機管理部審査では、消防団の担い手不足による地域の自主消防の存続危機に対する県の取組について質問がありました。学生や女性の消防団員を増やすことや、県内の消防団員が割引等の特典サービスを受けられる「信州消防団員応援ショップ」の拡充など、

様々な面から取り組んでいくとの答弁がありました。

現地調査

(7月12日・13日)松本地域・諏訪地域・飯田地域

(8月1日・2日)土尻川災害復旧工事現場 消防学校・佐久地域・上田地域

やっつこ風この中で

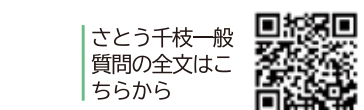
長野県は、「健康寿命(日常生活動作が自立している期間の平均)令和3年値を、県内男性は81.4年、女性は85.1年で男女共に全国1位と発表しました。要介護度2未満を健康な状態として、その平均値をもとに算出されています。県がめざす健康寿命延伸は、「しあわせ信州創造プラン3.0」の主要目標の一つ(目標:全国1位(2026年))として掲げています。健康づくりに努めましょう。長く続いた新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日から、5類感染症に移行されました。コロナ前の日々の生活に戻りつつある中、感染者が増えてきています。感染対策には十分に気をつけて、この夏例年にならない酷暑を元気に乗り切りましょう。

トピックス

ヤングケアラーに対する県の相談窓口が開設。社会福祉士の資格を持つ2名のコーディネーターが電話などで相談に乗り、必要な支援につなげています。ウェブサイトや対面で受け付け。専用電話(026-228-4244)



長野県議会
ホームページ



さとう千枝一般
質問の全文はこ
ちらから